y の 値と 式を 書く ドリル②

中1／ドリル 項目1 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・大問1は、x の 値を 決めて y の 値を 四角に 書く。
・大問2は、y に なる 数の 個数を 四角に 書き、y は x の 関数か どうかを ○で かこむ。
・大問3は、y を x の 式で 表して 四角に 書く。

大問1 x の 値を 決めて y を 求める

(1) 2 以上の 自然数 x の 約数の うち、1 より 大きい いちばん 小さい 数を y と する
x = 35 の とき の y の 値

□

(2) 自然数 x 以下の 3 の 倍数の 個数を y と する
x = 20 の とき の y の 値

□

(3) 1 以上 99 以下の 自然数 x の 各位の 数の 和を y と する
x = 78 の とき の y の 値

□

(4) 自然数 x の 倍数で 50 以下の ものの 個数を y と する
x = 7 の とき の y の 値

□

大問2 x を 決めたとき y は いくつ?

(1) x より 小さい 自然数を y と する（x は 4 以上の 自然数）
x = 6 の とき、y に なる 数は 何個? また y は x の 関数?

関数である　関数でない

y の 個数 □

(2) 2 以上の 自然数 x の 約数の うち、1 より 大きい いちばん 小さい 数を y と する
x = 15 の とき、y に なる 数は 何個? また y は x の 関数?

関数である　関数でない

y の 個数 □

大問3 y を x の 式で 表す

(1) x 円の ノートを 買って 1000円 出した ときの おつりを y 円 と する
y を x の 式で 表す

y = □

(2) 底面が 1辺 x cm の 正方形で、高さ 5cm の 四角柱の 体積を y cm^3 と する
y を x の 式で 表す

y = □

(3) 1個 x 円の りんごを 4個 買った 代金を y 円 と する
y を x の 式で 表す

y = □

(4) まわりの 長さが 20cm の 長方形の たて x cm、よこ y cm と する
y を x の 式で 表す

y = □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「比例と反比例」のプリント一覧がひらきます

y の 値と 式を 書く ドリル②【こたえ】

中1／ドリル 項目1 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 x の 値を 決めて y を 求める

(1) 2 以上の 自然数 x の 約数の うち、1 より 大きい いちばん 小さい 数を y と する
x = 35 の とき の y の 値

5

(2) 自然数 x 以下の 3 の 倍数の 個数を y と する
x = 20 の とき の y の 値

6

(3) 1 以上 99 以下の 自然数 x の 各位の 数の 和を y と する
x = 78 の とき の y の 値

15

(4) 自然数 x の 倍数で 50 以下の ものの 個数を y と する
x = 7 の とき の y の 値

7

大問2 x を 決めたとき y は いくつ？

(1) x より 小さい 自然数を y と する（x は 4 以上の 自然数）
x = 6 の とき、y に なる 数は 何個？ また y は x の 関数？

関数である / 関数でない（関数でない）

y の 個数 5

(2) 2 以上の 自然数 x の 約数の うち、1 より 大きい いちばん 小さい 数を y と する
x = 15 の とき、y に なる 数は 何個？ また y は x の 関数？

関数である（関数である） / 関数でない

y の 個数 1

大問3 y を x の 式で 表す

(1) x 円の ノートを 買って 1000円 出した ときの おつりを y 円 と する
y を x の 式で 表す

y = 1000 − x

(2) 底面が 1辺 x cm の 正方形で、高さ 5cm の 四角柱の 体積を y cm^3 と する
y を x の 式で 表す

y = $5x^2$

(3) 1個 x 円の りんごを 4個 買った 代金を y 円 と する
y を x の 式で 表す

y = 4x

(4) まわりの 長さが 20cm の 長方形の たて x cm、よこ y cm と する
y を x の 式で 表す

y = 10 − x

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 答えは (1) 5・(2) 6・(3) 15・(4) 7。x を 決めて y を 求める（y の 値から x を 逆に さがさない）。

大問2 y に なる 数の 個数は (1) 5個・(2) 1個。判定は (1) 関数でない、(2) 関数である。1つに 決まらない x が 1つでも あれば 関数でない。

大問3 答えは (1) 1000 − x・(2) $5x^2$・(3) 4x・(4) 10 − x。項の 順は ちがっても ○（(1) は −x + 1000 でも ○）。(1)(2)(4) は 比例でも 反比例でも ないが 関数である。